

舗装材料の種類とその維持管理について



沼津市維持管理課
大島 文宗

1

アスファルト系舗装

- ・アスファルト舗装(黒色)
- ・カラーアスファルト舗装
- ・脱色アスファルト舗装(自然色)
- ・遮熱性カラー舗装

2

アスファルト舗装(黒色)



工法特徴

通常のアスファルト混合物による舗装。
車道、歩道の両方に広く用いられている。

特徴

- ・多種類ある舗装の中で最も用いられている。
- ・骨材やアスファルトの種類を変えることにより、透水性などの機能を持たせることができる。
- ・施工性は容易
- ・他の舗装に比べ材料費が割安となる



概算施工費(直工)

3,500円/㎡～

3

カラーアスファルト舗装



工法特徴

通常のアスファルト混合物に無機顔料のベンガラ(酸化鉄)を混入した舗装

特徴

- ・最もベーシックなカラー舗装
- ・色調は落ち着いたマロン色(赤茶色)のみ
- ・一般のAs舗装と同様の歩行感や耐久性がある。
- ・施工性は容易
- ・小規模の場合、材料費が割高となる



概算施工費(直工)

4,400円/㎡～

4

脱色アスファルト舗装(自然色)



工法特徴

自然の砂質土や砂利等の骨材と石油樹脂系バインダーを加熱混合した舗装

特徴

- ・砂質土や天然砂利の自然な色調を表現できる
- ・一般のAs舗装と同様の歩行感があるが、耐久性はやや劣る(骨材の剥離)
- ・施工性も一般のAs舗装と同様に容易
- ・小規模の場合、材料費が割高となる

概算施工費(直工)

5,500円/㎡～

5

遮熱性カラー舗装



工法特徴

アスファルト舗装の表面に遮熱材(熱反射特殊顔料と断熱材料を混合した樹脂)を塗布または吹付けることにより路面温度の上昇を抑制する舗装

特徴

- ・As舗装に比べ夏季の路面温度が10～15℃程度抑制できる
- ・わだち掘れ等に対する耐久性が向上する
- ・色調はグレー系、アイボリー系、ブラウン系等数種類ありカラー舗装化が可能
- ・摩耗により再吹付けの必要が生じる可能性がある(約10年後)

概算施工費(直工)

5,100円/㎡～

6

ブロック系舗装 (乾式施工)

- インターロッキング舗装
- 平板ブロック舗装
- レンガ舗装

7

インターロッキング舗装



工法特徴

かみ合わせ効果を持つ100×200mm程度の大きさのコンクリートブロックをクッション砂を介して路盤上に敷き並べた舗装

特徴

- ・コンクリート製であるため強度、耐久性は大きい
- ・色調やテクスチャーが豊富で平面パターンを選択性が大きいため変化に富んだデザインが可能
- ・目地が多く段差が発生すると車いす利用者等の利便性が低下
- ・透水性のものもある
- ・補修は容易

概算施工費(直工)

6,600円/m²~

イーラde南側の仲見世入口付近の歩道

8

平板ブロック舗装



工法特徴

300×300～300×600mm程度の大きさのコンクリート平板ブロックをクッション砂を介して路盤上に敷き並べた舗装

特徴

- ・コンクリート製であるため強度、耐久性は大きい
- ・色調やテクスチャーが豊富で平面パターンを選択性が大きいため変化に富んだデザインが可能
- ・バリアフリー仕様や遮熱仕様等のバリエーションが豊富
- ・透水性のものもある
- ・補修は容易



概算施工費(直工)

標準7,900円/㎡～ 遮熱11,100円/㎡～

プラサヴェルデ北側道路の歩道

9

レンガ舗装



工法特徴

高温焼成したレンガ(100×200 100×210 115×230mm等のブロック)をクッション砂を介して路盤上に敷き並べた舗装

特徴

- ・天然素材である為、自然に馴染み易い。経年変化により味わいを増す。
- ・耐塩性に優れる。
- ・衝動に弱く角かけ等がしやすい。
- ・目地キープ等のかみ合わせ補助構造がない分、早めの維持補修が必要
- ・60mmのみの為、荷重支持の分散がなされず、乗り入れ部での破損が著しい場合がある

概算施工費(直工)

15,500円/㎡～

10

ブロック系舗装 (湿式施工)

- 自然石舗装

11

自然石舗装



工法特徴

様々な種類、形状 厚みの自然石を路盤または、コンクリート上にモルタルを敷き、張り並べる舗装

特徴

- ・耐久性に優れているが石材の種類により吸水率、曲げ強度が違う為、注意を要する
- ・天然素材の為、退色がなく経年変化も味わいとなる
- ・他商材との組み合わせが可能
- ・メンテナンス、再施工が難

概算施工費(直工)

23,000円/m²～(御影石程度)



永代橋周辺道路の歩道

12

その他の舗装

- コンクリート舗装
- 半たわみ性舗装

13

コンクリート舗装



工法特徴

- 主にセメントコンクリートを用いた舗装で、車道、歩道の両方に用いられる。

特徴

- たわみによるひびわれ防止のため鉄筋を配することが多く、施工期間が長くなり養生に手間がかかるなど敷設(打設)の難しさはあるものの、アスファルト舗装に比べてたわみに強く耐摩耗性に優れており、舗装補修を頻繁に行うことが困難な場所に用いられる。



- セメントコンクリートの色である白色に仕上がる。

概算施工費(直工)

4,500円/m²~

14

半たわみ性(半剛性)舗装



工法特徴

- 空隙の多いアスファルト混合物による舗装を行った後、その空隙にセメントミルクを浸透させたもの。

特徴

- アスファルト舗装とコンクリート舗装の長所を活用した舗装で、バス停や交差点流入部などで利用されている。



概算施工費(直工)

7,800円/m²~

耐荷重に優れ、
耐久性が向上します



舗装表面拡大

15

【舗装の主な修繕方法について】

アスファルト系舗装

- 打換えや切削(部分的に撤去し舗装し直す)、オーバーレイ(下がった部分の上に被せる)が比較的容易にできる(特に黒色は比較的安価)。



16

【舗装の主な修繕方法について】

ブロック系舗装(平板舗装、インターロッキング舗装)

- 耐久性のある材料に変更



平板を撤去し、黒色アスファルト舗装にて復旧し、表面を白く色塗りしたもの

- 同じ材料が入手不可の場合、類似品を補充



割れてしまったブロックの補充材として類似品を用いて模様のようにしたもの

17

【まとめ】

車道について

- 維持管理を考慮すると、耐久性が高く、施工しやすい黒色のアスファルト舗装が好ましい。

歩道について

- 車道より耐久性が低くても問題は無いため、ブロック系舗装が、景観的に優れており、復旧の際に材料を再利用できることから、採用されやすい。
- 透水性のインターロッキングや平板を使うことにより、雨天時でも歩きやすい環境ができる。
- ただし、歩道の中であっても、車両の乗り入れ部分については、ブロック系の舗装ではガタツキが生じやすいため、アスファルト舗装など強度があるものを推奨する。

18

～周辺道路との連続性について～



沼津駅南口ロータリー歩道(平板舗装)



イーラde前歩道(平板舗装)



イーラde南歩道(インターロッキング舗装)

～幅員の再構成～

